

らんフェスタ 2023 赤平

北海道の春は
赤平から



迎え花製作 華道池坊光明流清美会 家元 奥 祥華 先生

道内最大規模のらんの祭典、らんフェスタ赤平2023が4月14日(金)から16日(日)の3日間、総合体育館で開催されました。
全道から集まった3万人のらんが展示され、5465人のお客様を魅了しました。4年ぶりの開催となったらんフェスタでしたが、多くのお客様にご来場いただき、会場は活気に溢れていました。
入口から、ウェルカムフラワー、フラワーゲート、フラワーシャンデリアと多くのお花で彩られ、会場正面では奥祥華先生が手掛ける「迎え花」が、お客様をお出迎えしました。また、世界初の青色コチヨウラン「ブルージーン」が特別展示され、その美しさから、記念撮影をする人の姿が多く見られました。
江尻先生による講演会や、奥先生による実践セミナーは今回も大人気講演会では、江尻先生がお客様の質問に答える場面もあり、自宅であんな栽培する方にとって、とても貴重な時間となりました。
たくさんのお花と来場者の笑顔に祝福されらんフェスタ赤平は20周年を迎えました。



ウェルカムフラワー



講演会 園芸家 江尻 光二 先生



フラワーシャンデリア



特別展示 青色コチヨウラン「ブルージーン」



プリザーブドジェルボトル



小さなお子様もジェルボトルを作りました!



プリザーブドフラワー

審査講評

審査委員長 中澤会長 北海道蘭友会
今回はカトレアが少なく、デンドロビウムが多い傾向でした。コロナにより3年のブランクが有りましたが、みなさん立派なお花を育てられました。これまでのらん展で見たことのないお花も増え、どれも素晴らしい作品でした。

園芸家

江尻光二先生

3年のブランクを感じさせない。コロナ禍でここまで育てられたのは、素晴らしい。今回は大きいお花が迫力があり、目立ったようですが、小さいお花も素晴らしい作品ばかりでした。大賞のデンドロビウムですが、カーペットのようにお花がしきつめられているようで、素晴らしい作品でした。

おめでとうございます!



属名「デンドロビウム」
ふらの蘭友会 嶋田忠和氏



属名「フラグミヘティウム」
北海道蘭友会 橋本寿子氏



炭鉄港コーナー



似顔絵コーナー



和心ブラザーズによる演奏



「迎え花即売会」大盛況でした!

特設ステージでは「和心ブラザーズ」による和太鼓と三味線の演奏が行なわれ、会場を盛り上げました。また、似顔絵で師「キムナミ」さんによる似顔絵コーナーや、昔懐かしい駄菓子屋さんを訪れた方々を楽しませました。屋外飲食コーナーには、食欲をそそる香りが広がり、たくさんの方で賑わいを見せました。
3日間のらんフェスタを締めくくるとは恒例の「迎え花即売会」。「迎え花」に使用されたらんを特別価格で購入できるため、たくさんの方が集まりました。また、特別展示の「ブルージーン」も販売され、購入できた方は喜びが抑えきれない様子でした。